



高度救助・特別高度救助コース(第6回)の実施

消防大学校では、高度な資機材（救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令別表第3に定める救助資機材）を装備し、又は装備する予定である救助隊の隊長等を対象に、平成29年2月20日から3月3日までの2週間にわたり高度救助・特別高度救助コース（第6回）を実施しました。

本コースでは高度救助隊長、特別高度救助隊長としての救助業務遂行上必要となる高度な知識及び能力を修得させることを目的とした教育訓練内容としています。

座学では、消防庁国民保護・防災部の広域応援室長による「広域消防応援の課題と方向性」、同じく防災部参事官補佐による「救助行政とNBC災害対策」を始め、昨年4月に発生した平成28年熊本地震で災害対応及び緊急援助隊の受援体制を敷いた熊本市消防局の講師による「広域消防応援にかかる受援体制」、杏林大学病院高度救命救急センター長の山口講師による「放射線災害に

おける救急処置と除染対応」などを学びました。

実科訓練では、高度救助資機材の取扱い及び人命検索等基本技術の習得後、実践的な総合訓練を実施しました。

総合訓練としては、震災により自己管轄区域内にて大規模な救助事案が発生したとの想定による訓練のほか、緊急消防援助隊としての救助部隊の活動訓練を実施し、指揮能力と連携能力の向上を図り、高い訓練成果を収めました。

また、課題研究討議として「緊急消防援助隊の応援体制における取組及び問題点」や「大規模災害時における救助現場指揮への取組及び問題点」について、活発な意見交換、発表を行い、受講生全員で情報共有を図りました。

今後、消防大学校で修得した知識・技術を大いに発揮するとともに、共同生活で培ったネットワークを生かし、あらゆる災害に迅速、的確に対処し、地域住民の消防に対する負託に応えていくことが期待されます。



高度救助資機材の取扱い 1



高度救助資機材の取扱い 2



大規模災害対応訓練 1



大規模災害対応訓練 2

問い合わせ先

消防大学校教務部 海老澤助教授
TEL: 0422-46-1714

教育訓練の実施状況 (平成29年1月～3月実施分)

平成29年1月から3月実施分の教育訓練及び卒業（修了）生は、次のとおりです。
平成28年度の卒業（修了）生は、1,682名になりました。

| 学科・コース名 | 教育訓練期間 | 卒業（修了）生 |
|-------------------|-------------------|---------|
| 幹部科第48期 | 1月10日～2月23日（45日間） | 84名 |
| 上級幹部科第80期 | 1月11日～1月27日（17日間） | 50名 |
| 予防科第101期 | 1月16日～3月3日（47日間） | 48名 |
| 新任教官第10期 | 3月7日～17日（11日間） | 115名 |
| 高度救助・特別高度救助コース第6回 | 2月20日～3月3日（12日間） | 67名 |
| NBCコース第6回 | 2月27日～3月17日（19日間） | 66名 |
| 航空隊長コース第16回 | 2月2日～15日（14日間） | 56名 |
| 合 計 | | 486名 |



幹部科におけるホットトレーニング



上級幹部科における指揮シミュレーション訓練



新任教官科における課題研究発表



NBCコースにおける総合訓練

★消防大学校の最新情報は、ホームページ (<http://fdmc.fdma.go.jp/>) に掲載しています★

問合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712